

2011建設リサイクル技術発表会・技術展示会の概要

【技術発表会】

平成23年10月27日(木) 13:00～17:00

於 さいたま新都心合同庁舎1号館 講堂



■特別講演

今年度は、第1部として『東日本大震災と建設リサイクル』をメインテーマとし、各分野における取り組みについて特別講演をして頂いた。

1) 国・研究者の取り組み

独立行政法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長 大迫 政浩氏より、「災害廃棄物の処理・リサイクルの現状と課題 ～放射能問題との関連を含めて～」と題して、災害廃棄物の特徴・対策をはじめ、処理の方向性についてと、今回の震災で問題となっている放射性物質に汚染された廃棄物問題についての特別講演を頂いた。

以下、講演内容抜粋。

『今回の震災の特徴として、膨大かつ広域、異なる地域状況、津波廃棄物等があげられる。青森県から千葉県にわたり災害廃棄物2,300万t、津波堆積物1,300～2,800万tにもなる。地震による倒壊と異なり、津波の威力により破壊された建物は混合（ミンチ）状態になってしまっている。ガレキ撤去・分別の仮置き場が必要となるが、特に三陸沿岸部は平地が少なく用地の確保が困難である。また仮置き場からの処理へ向けての課題もある。

次に、放射性物質に汚染された廃棄物については、まず、放射性物質についての正しい知識を理解しなければならない。焼却施設において焼却し、ばいじんの規定値を厳守すれば、放射性セシウムがばら撒かれることはない。また、埋立処分においても溶出防止、水に触れさせない、吸着による流出遅延等の多重の防御技術を講じ、周辺環境や放流水のモニタリングを行うことにより、安全を確保できる。今後に向けて、出口戦略と社会における合意形成と、分散型処理と集中一括処理のそれぞれのメリットを生かして行かなければならない。』



2) 自治体の取り組み

日立市都市建設部長古平祐次氏より、

「東日本大震災とこれからの日立市」と題して、日立市の被災状況とこれからの復興に向けての取り組みについての特別講演を頂いた。

以下、講演内容抜粋。

『海岸への津波のエネルギーは凄まじいものであった。日立市の海岸・港・道路・家屋の被害は甚大であるが、死者、行方不明者は、0人であった。防災行政無線屋外拡声子局や、消防の避難誘導が上手くいったと考えられる。自助・共助・公助で支える安全な地域づくりという基本理念を掲げ、災害廃棄物の処理・処分、整備優先道路の早期整備等の復興への取り組みを行っていかねばならない。また、復興のシンボルとして、日立駅自由通路及び橋上駅舎が完成した。』



■技術発表(6議題)

特別講演の後は、第2部として以下の6団体の方々から、震災関係及び建設リサイクルに関する事例報告を発表頂いた。

NO.	会社名	発表テーマ
1	一般社団法人泥土リサイクル協会	震災復興に向け本協会のできること
2	前田工織株式会社	コンクリート殻および津波堆積土砂の分別処理と有効利用について
3	株式会社フジタ	土質改良材「FTマッドキラー」
4	(財)茨城県建設技術管理センター	廃瓦等、再生材の基本的な性質と今後の活用について
5	株式会社大林組	チップクリートを用いた低管理型緑化工法
6	清水建設株式会社	建設副産物予測システムと4R活動

【技術展示会】

平成23年10月26日(水)13:00~19:00 / 平成23年10月27日(木)10:00~16:00

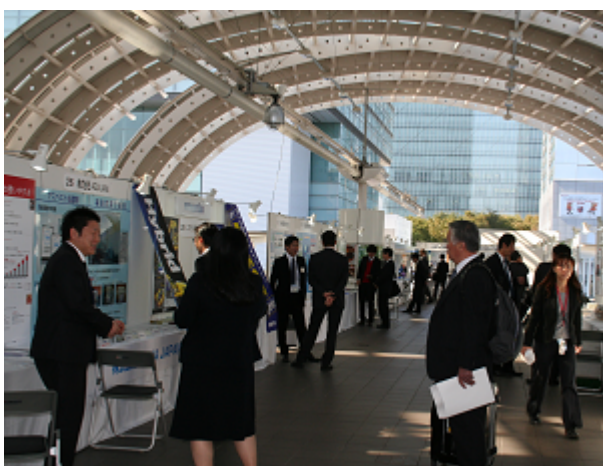
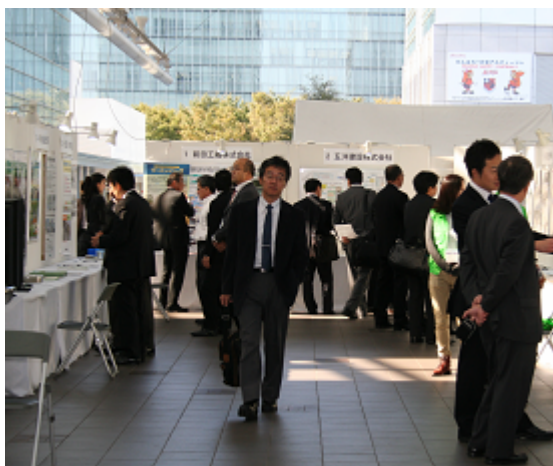
於 さいたま新都心駅自由通路

今回は、官公庁・民間企業・建設業団体29団体がパネルやパソコン、模型を用いて2日間にわたり展示を行った。

また、技術展示会をご覧頂いた方々からのアンケートにより、得票の多かった団体を優秀賞として、関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会 委員長（国土交通省 関東地方整備局長）より表彰された。

＝ 優秀賞受賞団体 ＝

- ・コマツ（株式会社小松製作所）
- ・NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会
- ・千葉県 県土整備部



2011建設リサイクル技術展示会 出展団体一覧

NO.	会社名	展示テーマ
1	前田工織株式会社	「耐候性大型土のう・ツートンバッグ」、「袋型根固め工法用袋材・ポトルユニット」、「袋詰め脱水処理工法」
2	五洋建設株式会社	i-Ash
3	株式会社技研	大型PRCプレキャストボックスカルバート 「スーパーボックスカルバート」
4	独立行政法人都市再生機構	ゼロエミッションへの挑戦
5	NPO法人 全国木材資源リサイクル協会連合会	建設廃木材のリサイクル
6	前田道路株式会社	高付加価値リサイクル路盤材 マイルドベース
7	日立建機株式会社	震災・災害復旧工事に貢献する現場内リサイクルシステム
8	財団法人茨城県建設技術管理センター	廃瓦等、再生材の基本的な性質と今後の活用について
9	千葉県 県土整備部	都市ごみ焼却灰のリサイクル
10	彩の国資源循環工場事業者協議会	公共関与による環境産業・研究開発拠点の整備
11	株式会社コトー	万能土質改良機による建設発生土再利用システム
12	日東建設株式会社	新しい計測技術によるコンクリート圧縮強度の推定
13	大成ロテック株式会社	ヒートリフレッシュ工法：建設リサイクルに関する技術
14	株式会社間組	石炭灰リサイクル固化体ACⅡによる盛土造成
15	株式会社フジタ	土質改良材「FTマッドキラー」
16	株式会社NIPPO	グリーン購入法に基づく環境物品等に関する技術
17	株式会社大林組	チップクリートを用いた低管理型緑化工法
18	オデッサ・テクノス株式会社	オデッサシステム
19	一般社団法人泥土リサイクル協会	震災復興に向け本協会のできること
20	大成建設株式会社	長寿命化に関する技術
21	清水建設株式会社	建設副産物予測システムと4R活動
22	共和ハーモテック株式会社	コンクリート塊が利用可能な鉄線系袋詰玉石工「根固めマット」
23	西松建設株式会社	根をリサイクル工法
24	鹿島道路株式会社	ヒートスティック工法
25	コマツ(株式会社小松製作所)	災害復旧工事に貢献する“現場内リサイクル機械”とハイブリッド油圧ショベル
26	株式会社AGUA JAPAN	アスベストならびに瓦礫粉塵飛散防止剤「AGUA-A3000」
27	株式会社イーリバーズドットコム	建設系電子マニフェストASP
28	建設副産物リサイクル広報推進会議	建設分野における3Rの取組み
29	国土交通省 関東地方整備局	東日本大震災における被災状況、復旧及び支援の取組み